中高生に対するライフデザインプログラムの導入実証（株式会社CURIO SCHOOL）

本事業では、中高生が様々な人生を歩んできた先輩方の生き方や考え方を知り、また自身で身近な大人に対してライフデザインに関する探究活動を行いながら、自らが25歳になったときの具体的なライフデザインを考えるオンラインプログラムを実施した 。参加者のライフデザイン明確化や将来について学ぶ理由の明確化に寄与することができた。

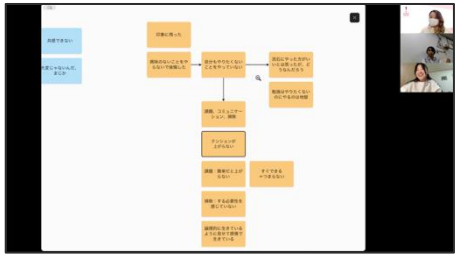
実施目的

様々な人生を歩んできた先輩方の考え方に触れながら自らの具体的なライフデザインを考えるとことを通して、中高生のライフデザインへの意識を向上させること。

実施内容・スケジュール

- ゲスト動画視聴や身近な大人へのインタビューを通して「25歳の自分」を考えるライフデザインプログラムを、令和７年12月から令和8年1月にかけて参加者16名（中学生6名・高校生10名）でオンライン実施した。

	11月	12月	1月
企画調整	企画案調整	-	分析・まとめ
関係者調整	関係者説明	-	成果報告
広報集客	学校集客	参加者集客	-
運営	運営準備	プログラム運営	プログラム運営





実施体制・実証フィールド

- 株式会社CURIO SCHOOL：コンテンツ制作・運営実施
- 小田原市教育委員会：名義後援・市内公立中学校への広報

効果検証結果

- 「ライフデザインの明確化」アンケート項目において、実施前2.8ptが実施後は4.4pt（1.6pt増加）となった。（5段階尺度）
- 「将来について学ぶ理由の明確化」アンケート項目において、実施前3.7ptが実施後は4.3pt（0.6pt増加）となった。（5段階尺度）
- 「将来の不安の軽減」アンケート項目において、実施前4.2ptが実施後3.9pt（0.3pt減少）となった。（5段階尺度）

ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆

- 学校授業外での実施によって、学校側の負担を軽減した形で実施することが可能であり、今後の学校における取り組みの広がりに期待できる。
- オンライン活用によって、幅広い地域から多様な所属の参加者を集めることが可能となり、多様な考え方の参加者が交流する場を創出することが期待できる。
- ライフデザインプログラムの具体例を提示することで実施イメージを未導入の学校や自治体に提示することができ、前例が無いことによる学校や自治体側の不安感を無くすことで、今後の学校授業における取り組みの広がりが期待できる。